

■ 止水板導入までの流れ・・・



仕様

■ 主な性能

名 称	つっぱりタイプ	マグネットタイプ	サイド支柱・三方枠タイプ
止水製品の種類と特徴	1分で設置可能 	ワンタッチで設置可能 	設置条件に制約がない
止水性能 (★)	工事不要 10ℓ/(h・m²) 以下 JIS漏水量による等級 Ws-4相当	工事不要 4ℓ/(h・m²) 以下 JIS漏水量による等級 Ws-5相当	簡易工事が必要 1ℓ/(h・m²) 以下 JIS漏水量による等級 Ws-6相当
設置可能幅	開口幅: 600~2300mm		
止水板の高さ	350mm / 500mm		
パネル材質・重量	アルミニウム: 6kg (幅600mm) ~ 18kg (幅2300mm)		

(★) 止水性能は実験値であり、保証される性能ではありません。設置個所の状況、設置環境、設置方法によって漏水量は変わります。また、本製品は完全止水製品ではありません。

お問い合わせは、止水板担当まで

059-253-5266

090-5036-2259

info@mie-city-pro.com

営業時間 AM 9:00 ~ PM 6:00 定休日 土曜・日曜日

現場調査、お見積り無料 お気軽にお問い合わせください



KTX止水板
正規一次代理店



Mie City Promotion

株式会社三重シティプロモーション

三重県津市上浜町2丁目122番地グランテージ上浜108号

KTX KTX Corporation Since 1965

地域未来牽引企業

2020年度、地域未来牽引企業に選ばれました。

KTXの止水板

スッペー

止水板

2



多数の発注を頂いています。

ご採用例：三井住友銀行様ほか

題字 豊口 広先生

大型台風・ゲリラ豪雨の浸水対策に

高価な精密機械の保全のため、老舗金型メーカーが真剣に考えた「止水板」。

地球温暖化が世界的規模で進展し、降水量が拡大・増加する時代です。

記憶に新しい2015年の東日本豪雨、2020年の西日本豪雨による大規模災害など、日本各地でゲリラ豪雨による激甚災害が多発しています。

中でも、線状降水帯による雨量は凄まじく、短時間で甚大な災害が起こっているほか、深刻化する都市型水害による内水氾濫（★）があります。

金融機関や公共施設など社会インフラの2次被害を減災させる手段として、KTXの止水板「スーパー止水番2」をご提案します。

（★）中小河川が逆流し、排水ができなくなり、住宅地や商業地でマンホールなどから水が大量に溢れる現象です。

HOT NEWS



NEWS



NEWS

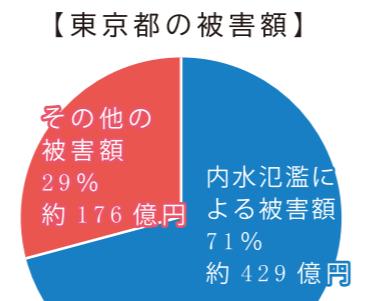
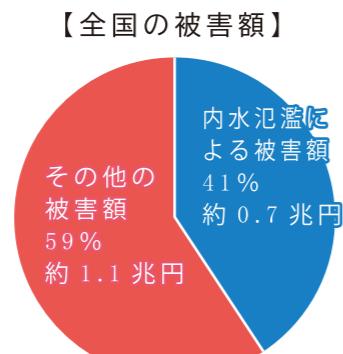


近年の日本全国における水害の被害

- 過去10年間の日本全国における水害被害額は約1.8兆円で、そのうち約4割が内水氾濫（東京都では、約7割が内水氾濫）。

内水氾濫による被害額が 約7割

都市型水害は、社会インフラが集中している大都市圏に被害を及ぼし、経済にも損失が大きく、その対策が急務です。



出典：水害統計（2008～2017年の10年間の合計）から集計

顕在化している降水量の予測

	既に発生していること	今後予想されること
降水	<ul style="list-style-type: none">◆ 短時間豪雨の発生件数が約30年前の約1.4倍に増加◆ 2012年以降、全国の約3割の地点で、1時間当たりの降水量が観測史上最大を更新	<ul style="list-style-type: none">◆ 1時間当たりの降水量50mm以上の発生回数が2倍以上に増加 (回/年) 1976～1985年 平均174回 2008～2017年 平均238回 約1.4倍 <p>気象庁の予想では 発生が500回弱と 2倍以上に増加</p>

出典：気象庁 地球温暖化予測情報 第9巻、2017

「土のう」のデメリットを解消します。
止水・速攻・強靭の各性能を備えた浸水対策の決定版！



「スーパー止水番2」と「土のう」の比較

① 止水性能の速さ

試験機関のお墨付き高性能な止水板
30cmまではなんと！漏水量が微量であったため、測定不可でした。

漏水量：0.036ℓ／(h・m²)

漏水量＝浸水した体積 / (1時間・水位×浸水した深さ) × 止水板の横幅

② 設置時間の速さ

誰でも簡単、最短1分

金曜日に設置して 土日も安心なんです♪

素早く積むためには 高度な訓練と 労力が必要です。

③ 止水板の強度

高度な解析方法で設計しました。

圧力条件 解析結果

かなりの水圧がかかっています。

「土のう」は、そもそも陣地を作つて弾除けに使うためのもので、水害対策には最適ではありません。

土のうの製作は2人1組で協力して袋に土を入れていきます。スコップ5杯ほどで土のう袋の5割程度約18kgになります。素人が積むと崩れる恐れがあります。

従来の止水板と比較して新設、既設を問わず工事コストを抑えることができ、設計用の高性能なコンピューターで水圧を解析し、軽さと丈夫さを兼ね備えた設計をしています。